

## 2024年度(令和6年度) 第9回 生産技術委員会 議事要旨

I.日 時 2025(R7)年2月14日(金) 15:00~17:00

II.場 所 (一社)日本木造住宅産業協会 (6階会議室)オンライン(ZOOM)併用開催

III.出席者(敬称略、順不同、※印は ZOOM 出席)、アンダーラインは欠席者

(委員出席:22名+委任状2名+オブザーバー1名+事務局2名)

主 査:秋山 哲一(東洋大学名誉教授)、

委員長:秋本 正人(住友林業株)、副委員長:中藤 栄顕(ポラテック株)、

委 員:※瀧澤 哲也(住友林業株)、谷口 哲哉(株日本ハウスホールディングス)、※楡井 洋(古河林業株)、  
牧内 博行(株AQ Group)、※杉山 勝也(ポラテック株)、※嶋田 味穂(大和ハウス工業株)、  
 馬場 久尋(住友林業株)、高橋 明久(タカノホーム株)、堀口 晃(ポラテック株)、  
 ※彦坂 恵多(サウラ住宅株)、久野 幹洋(ニチハ株)、※遠藤 龍司(BXカネシン株)、  
 ※澁谷 佑介(YKK AP株)、池田 昌彦(旭ファイバーグラス株)、  
落合 貴志(株小田急ハウジング)、  
 熊谷 淳一(住友林業ホームテック株)、※内山 岳彦(株エー・エス・ディ)、貫戸 雄貴(株タナカ)、  
池田 啓輔(ミサワホーム株)、吉川 誠二(株ハウゼコ)、※小寺 努(エスケー化研株)、  
鎌田 広道(株アールシーコア)、※工藤 俊美(近藤建設株)、※折笠 定勝(株エー・エス・ディ)、  
 ※佐々木 直史(株LIXIL)、清田 耕平(株エヌ・シー・エヌ)、氏居 亮平(新進建設株)、  
小川 泰史(株細田工務店)、原口 誠(住友林業株)、後上 知之(株カナイ)、  
 ※小山 行史(株ユニバーサルホーム)、※丹治 悦男(ナイス株)、  
今倉 秀樹(ジャパンホームシールド株)、※高橋 英教(株一条工務店)、  
昆 克実(日本住環境株)、釣本 篤司(日本住環境株)、河合 宏(株ファイブイズホーム)、  
市川 伸展(ヤマト住建株)、※大森 真司(ミサワホーム株)、

オブザーバー:

武永 祐嗣(株プラネックス)、川内 一毅(株プラネックス)、逆瀬川 博(株住宅審査補償事業)、  
 佐々木 徹(住宅保証機構株)、※浜本 和明(福井コンピュータアーキテクト株)、  
小山 義幸・高畠 雅人(株アンドパッド)

事務局:鈴木 保宏、松澤 ひろ美

## 【報告・議事事項】

## 1. 前回議事録の確認

(資料2)

・事務局にて、読み上げ、追加修正なし

## 2. 各WG進捗報告(建設副産物・安全衛生 CS・リフォーム・生産管理)(資料3-1~4)

## 【建設副産物WG】

...(馬場リーダー)

・木住協・建設副産物HP、石綿関係法令に関するQ&amp;A31項目

リニューアル → 2025.2.末 完成予定

・ユニバース様にて、「石綿関係、木住協版 お客様・発注者向け動画」を作成。

前回、皆様に視ていただいたものになります。(木住協HPに反映予定)

- ・来年度、「今さら聞けない石綿～」というアプローチで、引続いて石綿関連エヴィナー等作成・実施予定。

【安全衛生・CS WG】

…(瀧澤リーダー)

- ・YouTube視聴関連で言うと、「ヒューマンエラー～」の動画は、1月～2月と2か月続けて、200回以上視聴されている。ここ1年みても、最も多く視聴されている。先月も申しましたが、どこかの会社さんが、教材として、「これを視聴しなさい」等、指示があったのかなどWGメンバー内では、話がありました
- ・「電動エア工具と脚立安全作業のポイント」の見直しは全編通して見直し完了生産技術委員会(青表紙)にて紹介。(第10回委員会資料添付)
- ・「木造家屋解体工事の安全管理ポイント」(2012.1発刊)の見直しは、石綿に関しての法改正が、だいぶ変わっているので、重点的に入れていく。来年度中には、リリースしていきたいと考えております。

【リフォームWG】

…(事務局・鈴木)

- ・「既存住宅状況調査技術者」新規・更新講習は、新規・更新合わせ、97%の合格率。
- ・リフォーム版「施工管理チェックポイントマニュアル」が完成。
- ・2025.2.17(月)に、上記マニュアルを基に、講習会を木住協6F会議室にて実施予定。動画も作成作成、3～4月に配信予定。
- ・「断熱リフォーム販促用ツール」は、チラシ方式の使い易い、読みやすい形をとります。
- ・現在、全体リフォームか、部分リフォームかも含め、各社、断熱性能が現場の現状と仮目標とで乖離しているので、現場の状況や今後の展望も含め、どう進め方を再度WGで検討していく

【生産管理WG】

…(秋本委員長)

- ・「川崎総合科学高校」訪問、その後の状況としては、授業の一環として現場見学会等の実施には、学校の年次計画もあり、R7年度実施は難しい。ただ、希望者を募って等の対応なら、R7年10月以降の下期実施の可能性もあるので、今後も情報交換を進めていく。
- ・CCUSのその後の状況は、あまり変わっていない。
- ・各種プレカット情報紹介
  - ・床材・断熱・サイディング・石膏ボードのプレカットの記事含め紹介(生産WG議事要旨参照)

3.「高耐久シート」の紹介 (田島ルーフィング株式会社)

(増田委員)

- ・「高耐久シート」のプレゼン紹介をしていただいた。
- ・今後、太陽光パネル搭載が、増えてくるのもあり、各委員様に紹介。

#### 4. 建設分野における外国人材の受け入れについて（事務局・鈴木）

（資料5）

- ・建設分野で活躍する外国人技能者の在留者数 約11万人 全建設技能者数の約 3.7%
- ・在留資格別では技能実習が最多 2023年：約 9万人
- ・特定技能2号外国人は、現在 66人
- ・特定技能在留外国人数 1位は、ベトナム 2位 フィリピン 3位 インドネシア
- ・永住権のある特定2号の取得（試験合格）が、大変難しい状況なので、JACより、2号合格試験の過去問題を3月末に出す予定。

（秋山先生）

- ・昔は、中国からの人が多かったが、今はベトナムとなっている。その理由として、地元（中国）の賃金があがってきているので、日本に来る理由がなくなっている
- ・仏教ベースの国は、日本になじみやすいが、それぞれの国の経済発展が進んでくると、果たして日本が選ばれるかどうかはわからない。（韓国等も技能者不足）

#### 5. 「現場労働者の労務費確保に向けた取り組み」について

（資料6）

##### 1) 労務費基準の「実効性確保」について

1. 各契約段階で、適正水準の労務費を確保する。
  2. 適正水準の労務費を下請けに、賃金を技能者にまで行き渡らせる
- ・その取り組みの方向性と実現に向けた現状と課題

##### 2) 見積書の作成について

- ・必要経費を取りこんだ見積書の作成手順・運用の説明
- ・国交省との話でハウスメーカーは、どう考えればいいのか。
- ・国交省もハウスメーカーの現状は把握
- ・ハウスメーカーは現状のままという要望は伝えました。（現状のリスク踏まえ）

以上

#### 【次回 令和7年度 第1回生産技術委員会・WG】

・生産技術委員会	令和7年4月 11日（金）	15:00～17:00	（木住協 会議室）
・建設副産物WG	令和7年4月 7日（月）	13:00～15:00	（木住協 会議室）
・安全衛生CS WG	令和7年4月 7日（月）	15:00～17:00	（木住協 会議室）
・リフォームWG	令和7年4月 10日（木）	10:30～12:00	（木住協 会議室）
・生産管理WG	令和7年4月 11日（金）	13:00～14:30	（木住協 会議室）
・合否委員会	令和7年7月上旬～中旬（メールによる）		